

令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

森林保全課

1 施設の概要等

施設名	広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園（ひろしま遊学の森）		
所在地	広島市東区福田町 10166-2		
設置目的	○緑化に関する知識と技術の普及啓発 ○緑化の推進		
施設・設備	面積 124.97ha, 管理事務所・展示館等（4棟）, 遊歩道（12,000m）, 駐車場（474台）等		
指定管理者	5期目	H29.4.1～R4.3.31	ひろしまの遊学の森管理グループ
	4期目	H28.4.1～H29.3.31	みずえ緑地(株)
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	みずえ緑地(株)
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	みずえ緑地(株)
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	みずえ緑地(株)

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R3	98,000人	105,789人	△8,374人
R2		98,000人	114,163人	12,770人	16,163人(116.5%)
R1		98,000人	101,393人	17,906人	3,393人(103.5%)
H30		98,000人	83,487人	△10,904人	△14,513人(85.2%)
H29		98,000人	94,391人	1,056人	△3,609人(96.3%)
4期 H28		96,870人	93,335人	△4,195人	△3,535人(96.3%)
3期平均 H23～H27		96,870人	97,530人	△1,175人	660人(100.7%)
2期平均 H20～H22		93,900人	98,705人	4,769人	4,805人(105.1%)
1期平均 H17～H19		93,600人	93,936人	12,513人	336人(100.4%)
H16（導入前）		—	81,423人	—	—
増減理由	夏休み期間中の降雨及び新型コロナウイルス感染拡大防止対策による研修会やイベントの中止などによる減				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者へのアンケート調査	施設利用者・研修会参加者等 529人
	【主な意見】	【その対応状況】
	トイレを充実させてほしい 枯損木を伐採してはどうか	令和4年度以降、園内各所トイレを順次改修予定 調査により、危険度が高いと判断したものから順次伐採している

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	○ 施設の老朽・損傷状況等
管理運営会議（3回・現地）	【特記事項等】 施設の利用状況や広島市森林公園との連携についての報告と意見交換を行った。	
現地調査（2か月毎に実施）	【指定管理者の意見】 既存設備の有効活用による県民サービスの向上と利用の促進、及び広島市森林公園との連携における課題の改善に努める。 【県の対応】 設備の有効活用と広島市森林公園との連携の取組を支援する。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	5期	R3	61,176		0	料金 収入 (決算額)	—	—
R2			61,176	0					
R1			61,176	1,176					
H30			60,000	0					
H29			60,000	3,430					
4期		H28	56,570	820					
3期平均		H23～H27	55,750	2,500					
2期平均		H20～H22	53,250	△3,210					
1期平均		H17～H19	56,460	△5,794					
H16 (導入前)			62,254	—					

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R3 決算額	R2 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	61,176	61,176	0	
	料金収入	0	0	0	
	その他収入	0	0	0	
	計(A)	61,176	61,176	0	
支出	人件費	28,277	26,862	1,415	職員給与費等の増
	光熱水費	1,773	1,636	137	原油価格の高騰による増
	設備等保守点検費 清掃・警備費等	7,586	7,333	253	消防設備点検費の増
	施設維持修繕費	4,139	4,805	△666	修繕箇所数の減
	緑地管理費等	9,726	10,958	△1,232	労務費の減
	事務局費	5,578	5,216	362	広報事業費の増
	その他	4,106	4,382	△276	保険料等の減
	計(B)	61,185	61,192	△7	
収支①(A-B)		△9	△16	7	
自主事業 (※)	収入(C)	0	0	0	
	支出(D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合計収支(①+②)		△9	△16	7	

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	令和2年度に引き続き、湿地植物園や見本園内等に植栽を行い、緑地施設の充実を図った。 自然豊かなフィールドを活用して、季節の草花や生物を学習できる研修会等を実施した。	湿地植物園等への植栽では、近年増加傾向にある獣害への対策が施されており、着実に緑化の推進が図られている。 来園者へのアンケート結果からも、研修会等を通して、緑化に関する知識・技術の普及がなされていることが認められる。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	園内散策の安全性・快適性の向上のため、ボランティア団体との協働により、老朽化した木橋の修繕や木製階段の追加設置など遊歩道の整備を進めた。	ボランティア団体との協働による定期的な清掃活動や園内整備が、園内環境の維持改善や来園者が緑に親しめる環境づくりに寄与している。
	○業務の実施による、施設の利用促進	広島市森林公園と連携し、四季の移ろい写真コンテストやピクニックウォークの開催など、集客及び普及啓発活動に努めた。	広島市森林公園との連携により、幅広い年齢層や多様な利用目的など、来園者のニーズに沿ったイベント等の企画・広報活動がなされており、来園者の満足度の向上に繋がっている。
	○施設の維持管理	施設点検マニュアルに基づく各施設の点検及び危険木被害の予防のための樹木調査・処置を継続的に実施している。	施設点検マニュアルに基づいた点検に加え、樹木医による専門的な視点での危険木調査が適切に実施されており、安全面に十分注意した管理運営が行われている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	広島市森林公園との一体的な管理運営に加え、緑化相談や広報担当等を適正に配置し、各業務に効果的かつ迅速に対応している。	専門的知識を有した職員が複数名配置されており、設備管理や緑化相談等に対し適切に対応するための体制が整っている。
	○効率的な業務運営	維持修繕に係る再委託業務について、広島市森林公園との一元発注により、業務の効率化及び経費縮減に努めている。	指定管理者の専門的知見により、園内の緑地管理が効率的に行われている。
	○収支の適正	収支報告については、支出関係書類等に基づき、適正に行っている。	施設の定期点検によって、現況を適切に把握しており、指定管理料の範囲内で効率的に管理運営が行われている。
総括		令和3年度は、コロナ禍においても施設の設置目的に資するため、広報事業の拡大や施設整備、多様なイベントの企画開催に取り組んだ。 アンケート等による来園者ニーズの把握と整備・企画への反映の結果が、来園者数の目標達成及び満足度の向上に寄与したものと考えている。	新型コロナウイルス感染拡大対策により、施設の利用停止やイベントの中止が重なるなか、SNSを活用した広報活動や植物展示の拡充、ニーズに即した施設整備により、安定した来園者数が確保されている。 収支も計画どおりであり、設置目的に沿った適切な管理運営がなされている。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和4年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベント等の盛況に向けた効果的な情報発信を行う。 ○ 広島市森林公園との一体的な運営管理による活性化と課題抽出を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園内各所トイレのユニバーサルデザイン化及び老朽化施設の修繕を行う。 ○ 点検により危険木と判断された樹木の処理を行う。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の増加・満足度向上に向けた魅力のある施設にする必要がある。 ○ 計画的な施設の維持管理を行う。 	老朽化施設の長寿命化対策を行う。